

第18回看護国際フォーラム

主催：大分県立看護科学大学 / 共催：大分県看護協会

「認知症の人と紡ぐ看護実践～今、私達に求められる看護のチカラ～」

日時：2016年10月29日（土）12時30分～17時 / 会場：別府ビーコンプラザ 国際会議場

プログラム

| | |
|----------------------|---|
| 12：30～12：35 | 開会挨拶 村嶋 幸代（大分県立看護科学大学 理事長・学長） |
| 12：35～13：05 (30分) | 講演：認知症とともに、よりよく生きる キーワード：認知症当事者、暮らし、人間関係 講師：吉田 美穂 氏，日本認知症ワーキンググループメンバー 水谷 佳子 氏，RN，のぞみメモリークリニック、NPO 法人認知症当事者の会 |
| 13：05～13：25 (20分) | 講演：日本と大分の認知症施策の方向性と看護職への期待 キーワード：新オレンジプラン、地域包括ケアシステム、生活を支える看護 講師：吉田 知可，PHN，RN，MSN，精神保健福祉士，介護支援専門員 大分県福祉保健部高齢者福祉課 地域包括ケア推進班 副主幹 |
| 13：25～14：15 (50分) | 講演：的確にアセスメントし、せん妄を予防する キーワード：せん妄、多職種協働ケア、高齢者 講師：小川 朝生，MD，PhD 国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科長 先端医療開発センター 精神腫瘍学開発分野長 |
| 14：15～14：30 | 休憩 |
| 14：30～15：50 (80分) | 講演：重度認知症患者が快適に過ごすための看護の在り方 キーワード：緩和ケア、患者中心のケア、快適さ、重度認知症 講師：キャロル・O・ロング(Carol O. Long)，PhD，RN，FPCN，FAAN 高齢者看護ケアの専門家、多文化看護学者 エンドオブライフケア看護教育協議会(ELNEC)の老年看護指導者 Capstone Healthcare Group、Palliative Care Essentials の2つの医療法人の創立者、兼、CEO 米国アリゾナ州立大学校看護医療大学非常勤教員 |
| 15：50～16：00 | 休憩 |
| 16：00～16：55 (55分) | 総合討論 座長：小野 美喜（大分県立看護科学大学）、寺沢 操（大分県看護協会） |
| 16：55～17：00 | 閉会挨拶 竹中 愛子（大分県看護協会 会長） |

参加費：一般 2,000円、学生 500円（資料代等）

同時通訳用レシーバーを御使用の場合、別途1,000円必要です。

当日、受付にてお支払いください。できるだけおつりのないようお願いいたします。

応募方法：E-mail (forum2016@oita-nhs.ac.jp) または往復はがきに 所属、氏名（ふりがな）、および同時通訳用レシーバー使用の有無を明記しお送りください。なお、往復はがきの返信用には送付先をご記入ください。受付結果を折り返しお知らせします。

〒870-1201 大分県大分市大字廻栖野 2944-9 大分県立看護科学大学 看護国際フォーラム事務局宛

応募締め切り：10月14日（金）（定員に達し次第締め切ります。お早めにご応募ください。）

講師紹介

吉田 美穂 氏、水谷 佳子, RN, (のぞみメモリークリニック、NPO 法人認知症当事者の会)



吉田美穂氏, 日本認知症ワーキンググループメンバー

- ・ 63歳で認知症と診断された後、どうしていいかわからず、夫との関係が壊れそうになったこともあった
- ・ 自分の好きなことに打ち込み、汗を流し過ごす日常もある
- ・ 普通の一主婦が認知症と診断され、何を感じ、どう考えてきたかを伝えたい

水谷佳子氏

- ・ 認知症当事者の意見発信の支援、当事者同士の話し合いの場づくり、「認知症とどう生きるか」を認知症がある人・ない人がともに話し合う勉強会などを開催

吉田 知可, PHN, RN, MSN, 精神保健福祉士, 介護支援専門員

(大分県福祉保健部高齢者福祉課、地域包括ケア推進班)

- ・ 大分県保健師採用
- ・ 平成24年～25年 厚生労働省認知症・虐待防止対策推進室
- ・ 平成26年度より現職にいたる

小川 朝生, MD, PhD (国立がん研究センター 東病院 精神腫瘍学開発分野長)



- ・ コンサルテーション・リエゾン精神科医
- ・ 2007年より国立がん研究センター東病院にて勤務
- ・ 多職種によるせん妄対応プログラムの開発に携わる
- ・ 日本精神神経学会専門医・指導医

キャロル・O・ロング, PhD, RN, FPCN, FAAN (高齢者医療の専門家、多文化看護学者)



- ・ 認知症高齢者へ行う緩和ケアの実践および研究の先駆者。認知症患者のウェルネスや、終末期に至るまでを地域で支える看護ケアについて、米国内外へ数多く発表
- ・ 米国内外で認知症高齢者への緩和ケアに力をいれた2つの医療法人の創立者、兼、CEO
- ・ アリゾナ州立大学校看護医療大学非常勤教員、兼、バナーアルツハイマー医療法人の研究コンサルタント
- ・ 米国の American Association of Colleges of Nursing (AACN) と City of Hope National Medical Center が共同設立したエンドオブライフケア看護教育協議会 (ELNEC) の老年看護指導者
- ・ Transcultural Nursing Society の評議員。米国 Hospice and Palliative Nurses Association のフェロー (FPCN) かつ American Academy of Nursing のフェロー (FAAN)
- ・ 看護学学士号をマーケット大学看護学部、看護管理学の修士号をミシガン大学、博士号をアリゾナ州立大学で取得